

# 【平成29年度 月次状況報告】

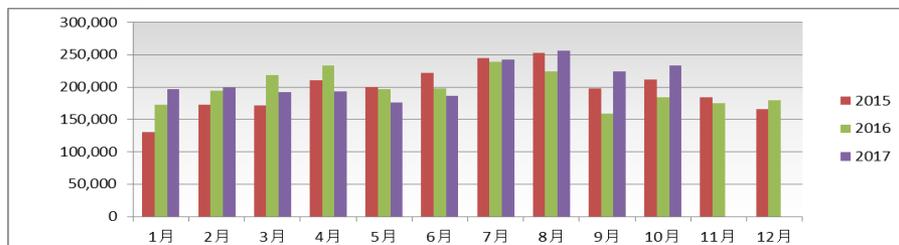
平成29年11月15日  
(東証2:8202)  
社長室経営企画部

## インバウンド状況

数値は国内の店舗売上に係る速報値です。また、今期より平均購買単価の公表は差し控えていただいております。  
※ 当社にて実際に購入に至ったレジ通過数を公表しております。また、純粋なインバウンドによる集計にするため、千葉ポートスクエアのレジ通過数は計上しておりません。

Laox国内全店	年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
レジ通過数 ※	2015	130,141	172,900	172,016	210,073	200,526	221,884	244,341	252,475	197,978	212,066	184,357	166,055
	2016	172,890	194,220	218,365	233,924	196,335	198,007	238,951	223,826	159,488	184,487	175,112	179,692
	前年比	+ 32.8%	+ 12.3%	+ 26.9%	+ 11.4%	- 2.1%	-10.8%	- 2.2%	- 11.3%	- 19.4%	-13.0%	- 5.0%	+ 8.2%
	2017	197,136	198,983	191,867	193,553	175,756	186,501	242,348	256,426	224,826	233,389		
	前年比	+ 14.0%	+ 2.5%	- 12.1%	- 17.3%	- 10.5%	- 5.8%	+ 1.4%	+ 14.6%	+ 41.0%	+ 26.5%		

## ■ レジ通過数



## ■ インバウンドトピックス

- ・10月の訪日客総数は、前年同月比121.5%の259万5千人で10月としては過去最大。中国客数は前年同月比131.1%で66万4千人の実績。 ※出典：日本政府観光局 (JNTO)
- ・10月に発表された訪日外国人消費動向調査では、7-9月期の訪日外国人1人当たりの消費金額は前年比6.6%増加と、7四半期ぶりに前年比プラスに転じた。国籍別ではベトナム(前年比60.5%)、フランス(同31.5%)、タイ(同26.8%)などが大きく増加した。

## ■ 当社施策

- ・『ギア-GEAR-』East Version (イーストバージョン) 制作発表会見を開催

10月25日、都内にて『ギア-GEAR-』East Version制作発表会見を開催した。『ギア-GEAR-』は京都で話題沸騰中のナンバー1 (=言葉に頼らない) パフォーマンスで、2000回公演を達成している。12月22日より千葉ポートシアターにて上演を開始し、地元のお客様はもちろん海外からの観光客の方にも満足いただける施設を目指す。



- ・『チャイナフェスティバル2017』に出展、協賛

日中両国の民間・文化交流の促進、国民の相互理解を増進するため、実行委員会と中国大使館が主催し10月21日、22日に代々木公園にて行われた『チャイナフェスティバル2017』に協賛、ブース出展しPRを行った。



## 出店状況

2017年10月末時点 45店舗

新規出店					
オープン日	店舗名	面積 (㎡)	オープン日	店舗名	面積 (㎡)
3月06日	佐世保店	297.52	7月30日	宮古島店	258.00
4月02日	松ヶ枝ターミナル店	40.00	8月08日	鹿児島店	1,366.00
4月05日	佐世保港ターミナル店	52.50	8月18日	成田空港第2ターミナル店	65.00
7月01日	千葉ポートスクエアポートタウン	12,762.00	10月25日	沖縄アメリカンビレッジ店	592.00
7月19日	LaRa TOWN 太宰府店	3,075.00			
閉店					
閉店日	店舗名	閉店日	店舗名	閉店日	店舗名
1月10日	釧路空港店	3月28日	秋葉原アソビットシティ店		
2月18日	佐世保店 (移転)	5月30日	マリシアシティ福岡店 (業態変更)		
2月20日	札幌ルベサ店	8月27日	大丸神戸店		

## 補足コメント

10月のレジ通過数は前年比126.5%で、前年比および一昨年比でプラス傾向が継続している。出国前の訪日客にアプローチするブランディングと広告活動を活性化させる。また、国土交通省が進める「手ぶら観光カウンター」の登録を全国の当社店舗26ヶ所にて行った。お客様の利便性を高め、来客数増加につなげていく。12月の『ギア-GEAR-』East Versionの開幕によって、いよいよ千葉ポートスクエア全体が稼働することとなる。飲食・ショッピング・エンターテイメントをワンストップでお楽しみいただける施設として、「モノ+コト」の融合を深め、顧客満足度を高めていく。